

整理番号	受付年月日	相談者氏名	相談手段
2-4-1	2015年4月1日	匿名	直接

### 質問内容

持続可能な社会を維持するための要素のひとつである『水』の状況について教えてください。

### 回答

私たちの地球にはおよそ 14 億 Km<sup>3</sup> の水があると言われてしていますが、そのうちの約 97%が海水であり、淡水は約 3%しかありません。海水は飲料水にも生活水にもまったく適しておらず、地球上の約70億人の人間が、地球上の3%の水に頼って生きています。この3%の水も、水蒸気や、地下深くに潜む伏流水や地下水、南極や北極の水や雪など、ほとんどは現実に使用不可能な状態で存在します。これらを差し引くと、人が直接使用できる水は全体のたったの 0.0001%に過ぎません。(下記の“地球上の水のバランス図”参照)

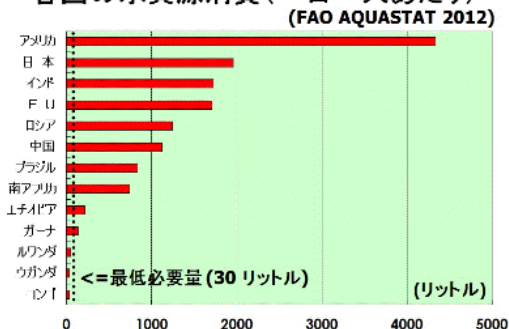
現在、世界の約 7 億人が、水不足の状況で生活し、年間約 180 万人の子どもたちが亡くなっているといわれています。(国連水資源報告書, 人間開発報告書) 中国の黄河では 1 年の半分以上は河口まで水が流れなくなり、流域の人々が飲料水にも困り、工場の操業停止などが起きたと言われ、世界第 4 の湖アラル海(びわ湖の 100 倍)は栽培、灌漑農業のために水量が激減し、面積は半分、水量は 1/3 になったと言われてしています。

小麦などの穀物の栽培には大量の水が必要です。1kgの穀物の生産にはその 1000 倍以上、つまり 1トン以上の水が必要ですので、水不足は食糧不足とつながります。

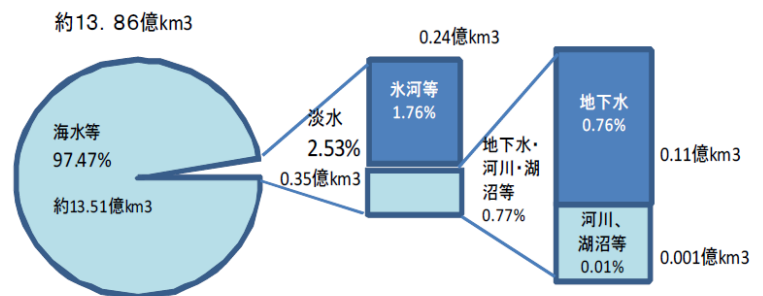
水不足の原因の大部分は、アメリカや EU、日本などの先進国の水の大量消費ですが、近年では、インドなどの発展途上国が近代化したことも原因に含まれます(下のグラフ参照)。輸入に頼っている日本は、その生産に必要な水を間接的に消費していることとなります。(これを仮想水と呼びます) 日本が輸入している大豆や小麦は 100 億トン、牛肉は 150 億トンの仮想水を輸入しているのと同じなのです。日本の輸入品(農産物や工業製品)のために使われている仮想水は全部で約 800 億トンになり、日本の水使用量全体(約 830 億トン)とほぼ同じ量の水を海外で消費していることとなります。

世界レベルでの水の危機を認識し、風呂、洗たく、水洗トイレ、洗面、炊事、洗車、庭の水まき などの節水に心掛けて、仮想水を減らすことになる国産品を利用するとともに、食品ロスを減らすことが仮想水の節水に繋がるという意識をもって『山口たべきっちよる』運動にも積極的に参加しましょう。

各国の水資源消費(一日一人あたり)



地球上の水のバランス



(注) 1. World Water Resources at the Beginning of 21st Century ; UNESCO, 2003 をもとに国土交通省水資源部作成。  
2. 南極大陸の地下水は含まれていない。  
出典: 国土交通省水資源部「平成 26 年版日本の水資源」から

### 参考

- (1) <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/stt/mizusigen/hokkaidonomizushigen01.pdf>  
(2) [http://www.chikyumura.org/environmental/earth\\_problem/water\\_resource.html](http://www.chikyumura.org/environmental/earth_problem/water_resource.html)